

コピーのしかた

■ コピー/リストアのしかた

HDD(メイン)、HDD(サブ)の記録内容をコンパクトフラッシュカードへコピーしたり、コンパクトフラッシュカードの記録内容をHDD(メイン)へリストアしたりすることができます。

設定項目

- 「HDD(メイン)→CFC」 : HDD(メイン)の記録データをコンパクトフラッシュカードにコピーします。
- 「HDD(サブ)→CFC」 : HDD(サブ)の記録データをコンパクトフラッシュカードにコピーします。
- 「CFC→HDD(メイン)」 : コンパクトフラッシュカードの記録データをHDD(メイン)へリストアします。

- ❗ 「HDD(サブ)→CFC」は、＜運用変更・初期設定＞画面の「HDD記録運用」を「アラームパーティション」に設定した場合に表示されます。
- ❗ コンパクトフラッシュカードをご使用になる前に、コンパクトフラッシュカードの取扱説明書で使用上の注意などを確認してください。

1-1 (コンパクトフラッシュカードにコピーする場合は・・・) コンパクトフラッシュカードを、本機のコンパクトフラッシュ ロットに差し込む。

1-2 コピーボタンを押す。 ・ <コピー>画面が表示されます。

1-3 「転送動作」に、「HDD(メイン)→CFC」または「HDD(サブ)→ CFC」を表示させ確定する。

<コピー>		HDD (メイン) →CFC	
>>転送動作	モード	上書き	
範囲指定		開始・終了	
開始	2004-01-01	00:00:00	
終了	2004-02-01	00:30:00	
実行			

2-1 (コンパクトフラッシュカードからリストアする場合は・・・) コピーボタンを押す。

- ・ <コピー>画面が表示されます。

2-2 「転送動作」に、「CFC→HDD(メイン)」を表示させ確定する。

- ➡ 「CFC→HDD(メイン)」設定を選択した場合、メニューが<リストア>に変わります。

<リストア>		BAK→HDD (メイン)	
>>転送動作	モード	上書き	
範囲指定		開始・終了	
開始	2004-01-01	00:00:00	
終了	2004-02-01	00:30:00	
実行			

3 ジョグを回して「モード」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

- ・ 設定項目 (初期設定は「上書き」)
 - 「上書き」 : 記録内容を上書きします。
 - 「追記」 : 記録内容を追記します。

- ❗ 転送動作、モード:「上書き」を設定し実行した場合、コンパクトフラッシュカードの記録データ、メニューデータの区別無く、全記録データに対し、上書きします。ご注意ください。

4 ジョグを回して「範囲指定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

- ・ 設定項目 (初期設定は「開始・終了」)
 - 「開始・終了」 : 記録開始・終了日時を設定します。
 - 「開始」 : 記録開始日時のみを設定します。
 - 「最新データ」 : コピーをするデバイスの記録が可能な容量に応じて、記録の終了点までコピーする。

5 ジョグを回して「開始」を選択し、希望するコピー(リストア)開始日時を表示させ確定する。

6 (ステップ4で「開始・終了」を設定した場合のみ・・・)
ジョグを回して「終了」を選択し、希望するコピー(リストア)終了日時を表示させ確定する。

7 ジョグを回して「実行」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・コピー(リストア)が実行されます。
- ・コピー(リストア)を実行しない場合は、シャトルを左に回すか、コピーボタンを押してください。

❗ コンパクトフラッシュカードが挿入されていない状態で、コピーまたはリストアを実行すると、「コピー/メディア無し」または「リストア/メディア無し」警告が表示されます(👉 143ページ)。

❗ コピー範囲がコンパクトフラッシュカードの空き容量を上回る場合は、コピー実行時に画面に「コピー/サイズエラー」警告が表示されます(👉 143ページ)。そのときは、コピー範囲を狭めてもう一度設定するか、空き容量の大きいカードを入れてください。

❗ コピー範囲にデータの無い日が含まれていると、画面に「コピー/サイズエラー」警告が表示されますので、ご注意ください(👉 143ページ)。

❗ コンパクトフラッシュカードにリストアするデータが存在しない場合は、リストアを実行時に「リストア/サイズエラー」が表示されます(👉 143ページ)。

❗ 当社独自フォーマット(FSM2)のコンパクトフラッシュカードと異なるフォーマットのコンパクトフラッシュカードからのリストア実行時には、「リストア/メディアエラー」が表示されます(👉 143ページ)。

❗ 使用可能なコンパクトフラッシュカードについては、販売店にご確認ください。

❗ コピー範囲が正しく設定されていなくても、システム上データをコピーする場合があります。

➡ コンパクトフラッシュカードへのコピー可能な記録時間については、👉 140ページ。

➡ 映像は、1MB単位で管理されています。そのため、コピーをする場合、指定範囲を含む1MB単位でコピーされるので、設定された範囲より広くなる場合があります。

コピーのしかた(つづき)

■レコーダーからビデオテープにコピーする

本機が記録中でも、コピーすることができます。アナログビデオ記録装置の録画の操作については、アナログビデオ記録装置の取扱説明書をごらんください。

- 1 **【アナログビデオ記録装置】 録画の準備をする。**
 - ・ 必ず、入力切換を本機を接続している外部入力にしてください。
- 2 **【本機】 分割／シーケンスボタンを押して、再生する画面の種類を選ぶ。** (42ページ)
 - ・ 1画、4分割(a～c)、9分割表示が選べます。
- 3 **【本機】 サーチ機能を使って、コピーしたい場面を頭出しする。**
(93ページ「開始点サーチ/終了点サーチ」)
- 4 **【アナログビデオ記録装置】 録画を始める。**
- 5 **【本機】 再生ボタンを押して、再生を始める。**
- 6 **コピーをやめる場合は、【本機】の再生停止ボタンを押して再生を停止させたあと、【アナログビデオ記録装置】の録画を停止する。**

❗ ビデオテープには、画面に表示されているカメラ番号の映像のみが、コピーされます。

